

Magazine & Online

ダイヤモンド クォーターリー

MEDIA GUIDE

2024-2025

ダイヤモンド クォーターリー／DQオンライン媒体資料

INDEX

Magazine & Online

メディアコンセプト／媒体概要

1P

広告協賛メニュー

11-13P

編集長挨拶

3P

掲載料金

14P

本誌読者属性

4-6P

オプション

15P

オンライン読者属性

7P

ウェビナー実績

16-21P

有識者インタビュー実績（経営者）

8P

ポジショニングマップ

22P

有識者インタビュー実績（アカデミズム）

9P

問い合わせ

23P

読者の声

10P

媒体概要 (About DIAMOND Quarterly)

ダイヤモンド社が保有する法人データベース25万件の中から、東証プライム市場に上場する企業＋売上高400億円以上の非上場企業のCクラスを含む経営者および取締役・執行役員約21,000人を抽出し、個人名宛で直送する唯一無二のマネジメント誌です。

ダイヤモンド クォーターリーは、2013年にダイヤモンド社100周年記念事業として生まれ、3年後の2016年10月に現在の誌名、発行形態で創刊いたしました。

以降、日本を代表する経営者、アカデミズムなどのへのインタビューをはじめ、コンサルティングファームやITスペシャリストへの取材記事など、本質的で実践的なコンテンツを多数掲載しており、読者である経営マネジメント層から高い支持をいただいています。

また、近年は誌面とともにデジタル版の配信、オンラインでの展開、イベント開催などにも力を入れており、今後さらに読者とのリレーションや接点を強化していく予定です。

誌面版＋デジタル版

媒体概要（詳細）

発行日：3月、7月、10月、12月発行（年4回・季刊）

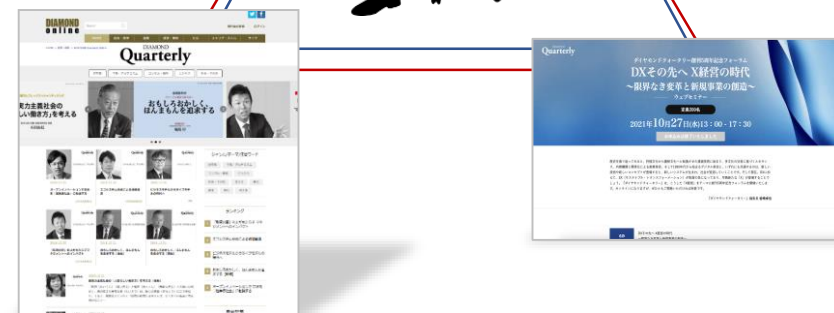
発行形態：コントロールドサーキュレーション（選ばれた読者のみに送付）

販売価格：無料 ※電子版は880円（税込）で販売

発行部数：約56,000部（雑誌21,000部＋デジタル版35,000部）

オンライン

イベント



編集長挨拶 (From Editor in Chief)

“日本的経営の再発見”をコンセプトに、21世紀にふさわしい日本的経営のあり方や、それを実現するための議論や実践知を共有する「知的プラットフォーム」を目指します。

日本の産業界は戦後以降、積極的に欧米企業に学びその長所や特長を「選択的」に取り込みながら製品、事業、人材、経営そのものを進化させ、ついには「日本的経営」という世界に類を見ない独自のマネジメントシステムを確立しました。しかし、バブル経済崩壊後は自信喪失から日本的経営を否定し、経営のグローバルスタンダード化という名の下に欧米の経営理論や手法を安易に導入した結果、日本企業の強みが急速に失われてしまいました。

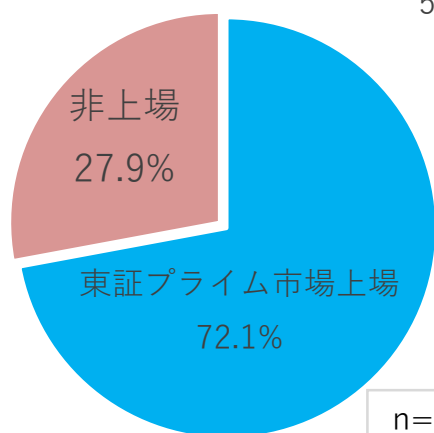
そもそも、国の歴史、風土、文化、社会規範、地政学的要因等が異なる以上、経営のグローバルスタンダードなど存在しえません。その象徴的存在としてよく紹介されるGE、P&G、フィリップス、シーメンスなどは、実のところ創業者の理念や価値観、発祥の地の歴史や文化を今なお大切にしており、それが彼らの強さの源泉となっています。

ダイヤモンド クォーターリーは、冒頭の「21世紀にふさわしい日本的経営の再発見。」を掲げ、それを実現するための議論や実践知を共有する「知的プラットフォーム」を目指します。

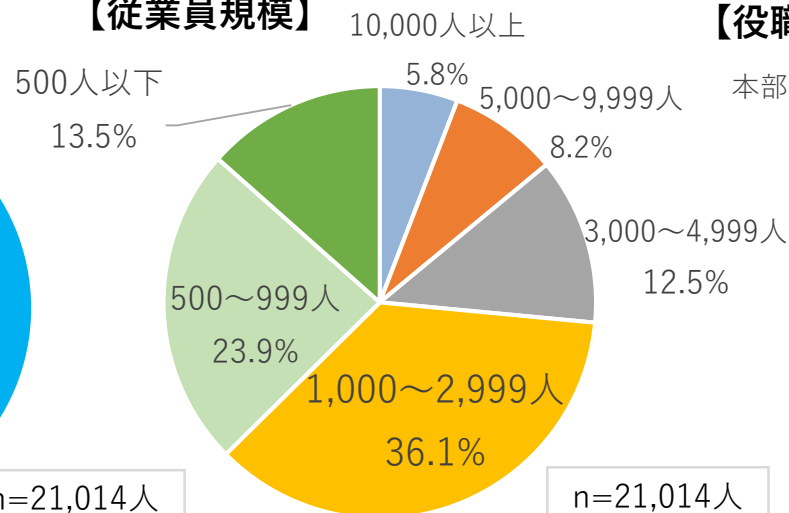
ダイヤモンド クォーターリー
編集長 岩崎 卓也

本誌読者属性① (User Profile)

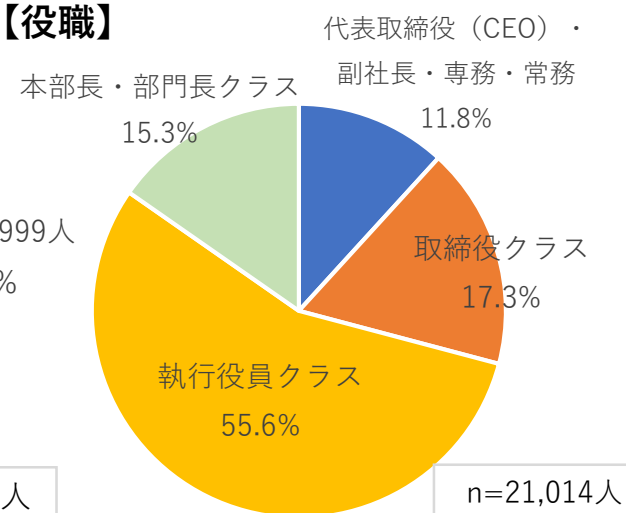
【上場区分】



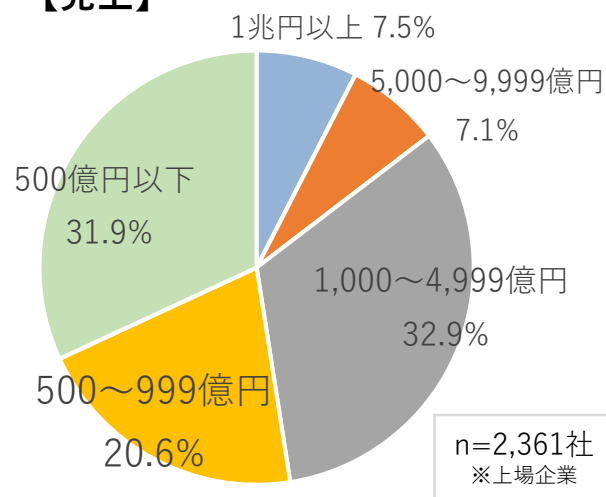
【従業員規模】



【役職】

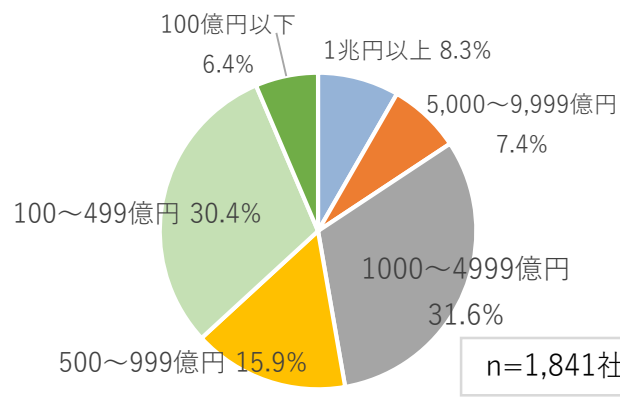


【売上】

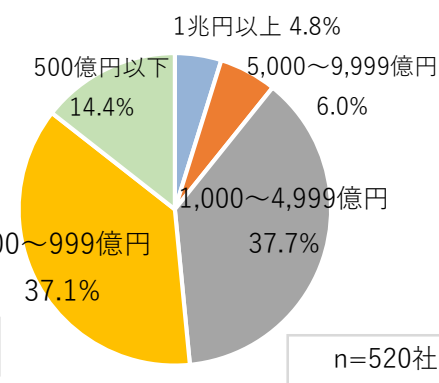


【売上（上場・非上場の内訳）】

〈東証プライム上場企業〉

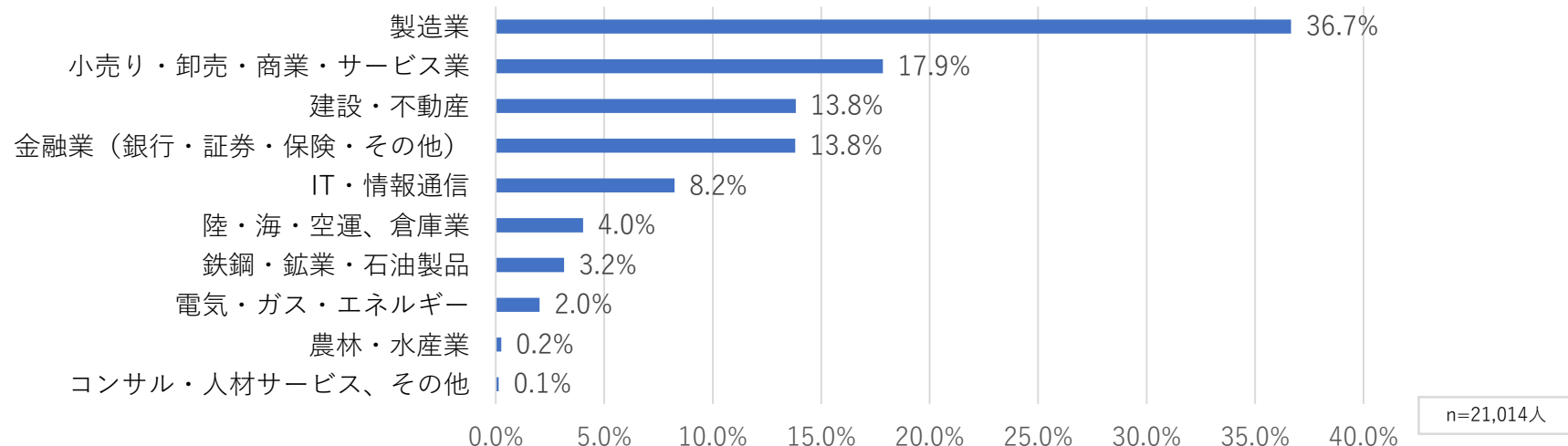


〈非上場企業〉



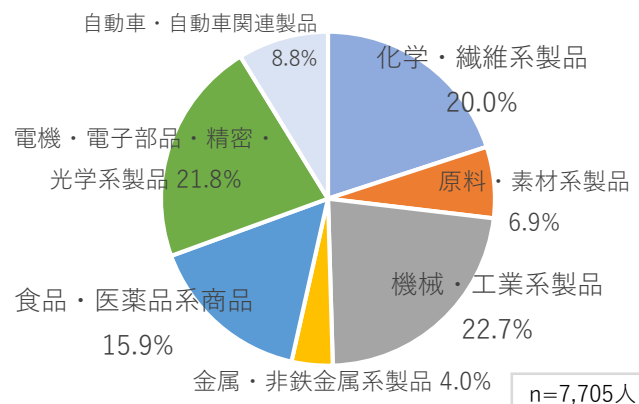
本誌読者属性② 業種 (User Profile)

【業種】

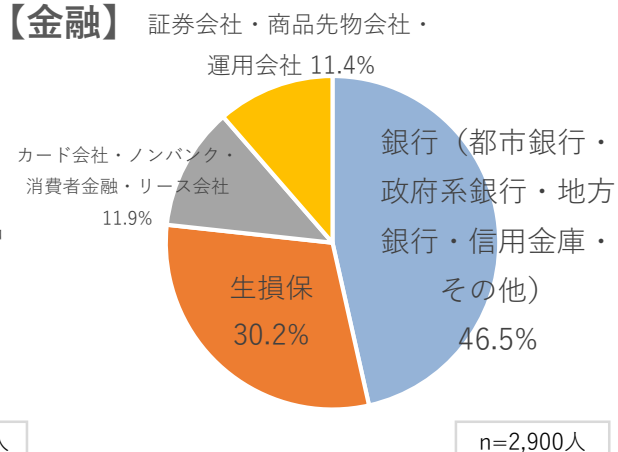


【業種内訳】

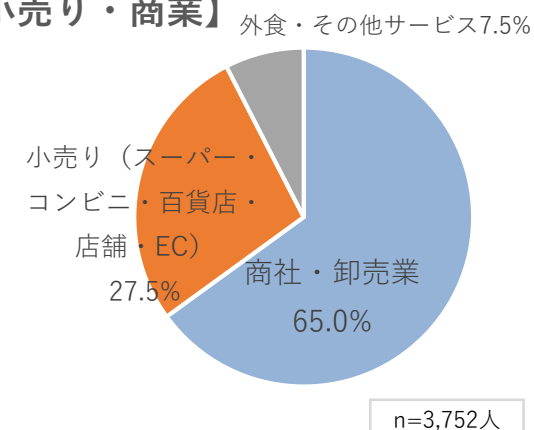
【製造業】



【金融】

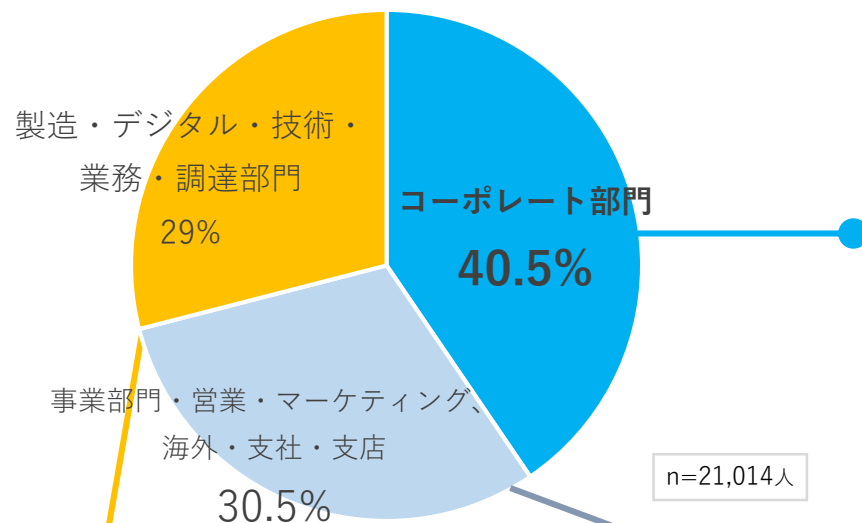


【小売り・商業】

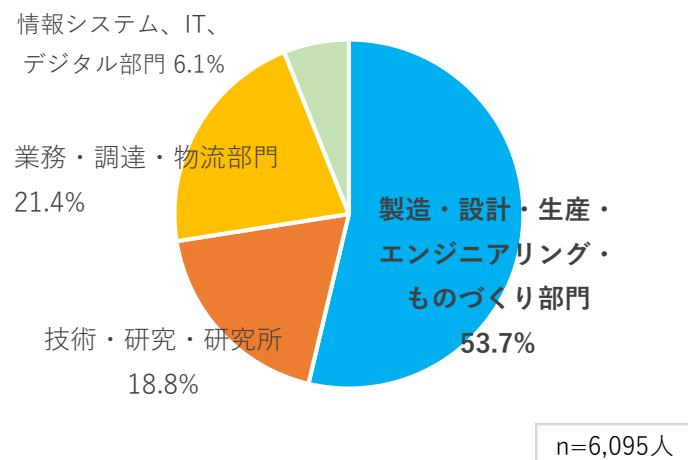


本誌読者属性③ 部門 (User Profile)

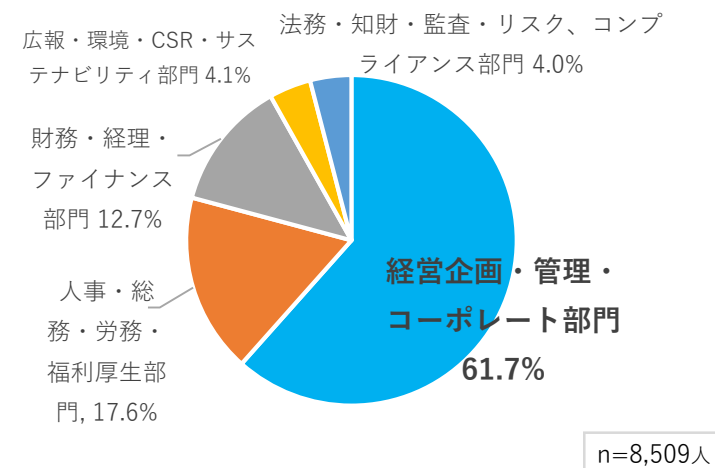
【部門】



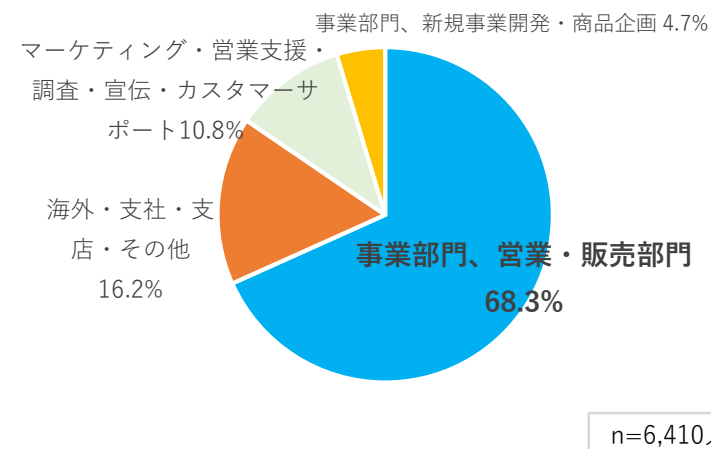
【製造・デジタル・技術部門】



【コーポレート部門内訳】



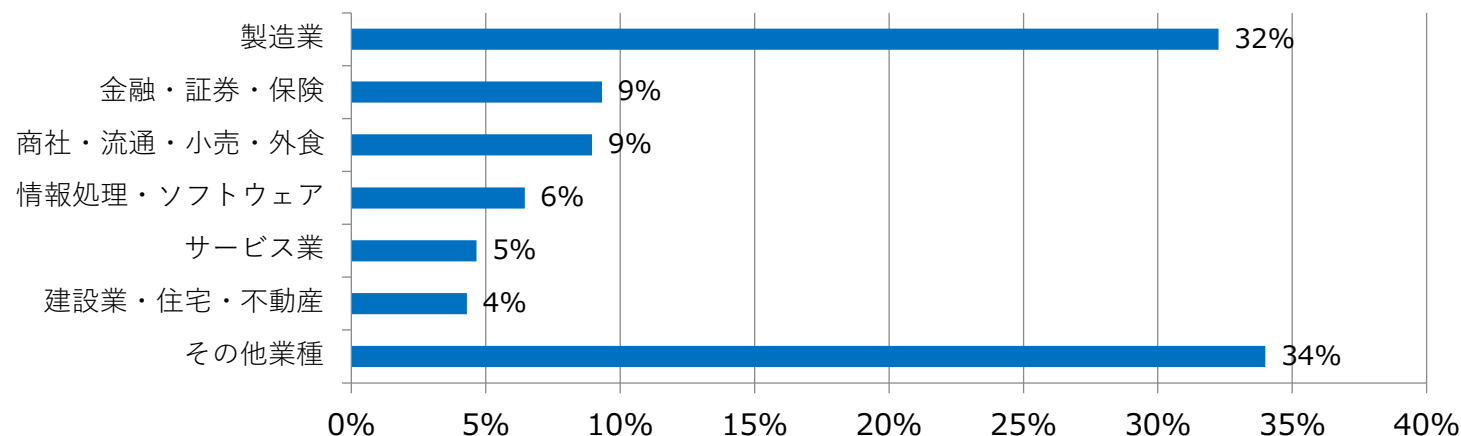
【事業部門・営業・マーケティング・海外・支社】



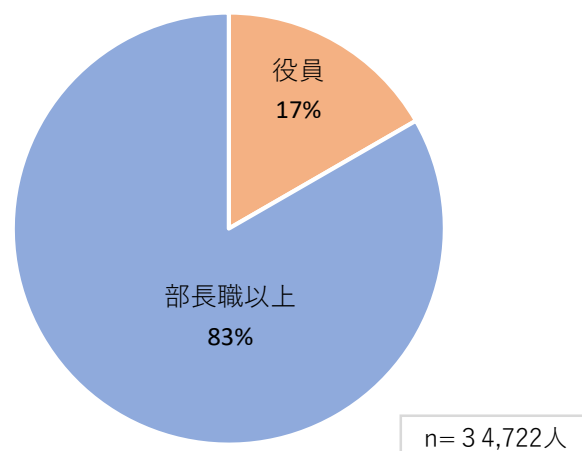
デジタル版読者属性 業種／役職／従業員規模 (User Profile)

ダイヤモンド・オンライン、DHBRオンラインに登録する企業規模1,000名以上、経営者・役員、部長格35,000通に配信。

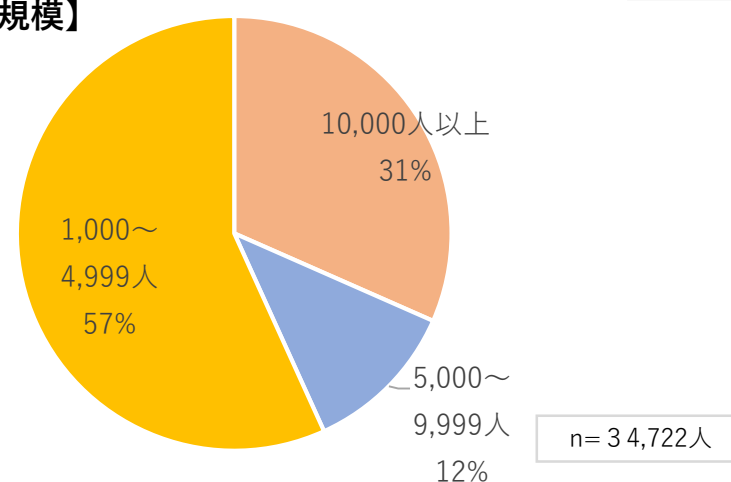
【業種】



【役職】



【従業員規模】



※配信タイミングにより通数は変動する場合があります。

有識者インタビュー実績① 経営者 (Interviewee)

有馬浩二 (デンソー 代表取締役社長)
 安藤宏基 (日清食品ホールディングス CEO)
 魚谷雅彦 (資生堂 代表取締役社長 兼 CEO)
 牛尾治朗 (ウシオ電機 代表取締役会長)
 小野田 聡 (JERA 代表取締役社長)
 垣内威彦 (三菱商事 代表取締役社長)
 金川千尋 (信越化学工業 代表取締役会長)
 柄澤康喜 (MS&ADインシュアランスグループHD 取締役会長 会長執行役員)
 北尾裕一 (クボタ 代表取締役社長)
 久夛良木 健 (ソニー・コンピュータエンタテインメント 元会長)
 古森重隆 (富士フイルムホールディングス 代表取締役会長 CEO) 作田久男 (NTK セラミック 代表取締役会長)
 柵山正樹 (三菱電機 代表執行役 執行役社長)
 佐藤慎次郎 (テルモ 代表取締役社長CEO)
 澤田 純 (NTT 代表取締役社長)
 澤田道隆 (花王 代表取締役社長執行役員)
 鈴木 純 (帝人 代表取締役社長執行役員CEO)
 島野容三 (シマノ 代表取締役社長)
 谷本秀夫 (京セラ 代表取締役社長)
 玉川 憲 (ソラコム 代表取締役社長)
 津賀一宏 (パナソニック 代表取締役社長)
 土屋裕雅 (ベイシアグループ 代表取締役会長)
 津谷正明 (ブリヂストン 取締役 代表執行役CEO兼取締役会長)
 中田卓也 (ヤマハ 代表執行役社長)
 中山泰男 (セコム 代表取締役社長)
 新浪剛史 (サントリーホールディングス 代表取締役社長)
 西井孝明 (味の素 代表取締役 取締役社長 CEO)
 東 和浩 (りそなホールディングス 取締役兼代表執行役社長)
 東原敏昭 (日立製作所 取締役 代表執行役 執行役社長兼CEO)
 藤野道格 (ホンダ エアクラフト カンパニー CEO)
 堀場 厚 (堀場製作所 代表取締役会長兼グループCEO)

オムロン
 代表取締役社長
 山田 義仁 氏



堀場製作所
 代表取締役会長 兼
 CEO 堀場 厚 氏



サントリー
 代表取締役社長
 新浪 剛史 氏



松本正義 (住友電気工業 取締役会長)
 峰岸真澄 (リクルートホールディングス 代表取締役社長兼CEO)
 三村明夫 (新日鐵住金 相談役名誉会長 | 日本商工会議所 会頭)
 宮永俊一 (三菱重工業 取締役社長 CEO)
 村田恒夫 (村田製作所 代表取締役社長兼会長)
 山田匡通 (イトーキ 代表取締役会長)
 山田義仁 (オムロン 代表取締役社長)
 吉永泰之 (SUBARU 代表取締役社長)

有識者インタビュー実績② アカデミズム (Interviewee)

伊丹敬之 (国際大学 学長 | 一橋大学 名誉教授)
 伊藤友則 (一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 教授)
 岩井克人 (国際基督教大学 特別招聘教授)
 宇佐美英機 (滋賀大学 名誉教授)
 宇田川 勝 (法政大学 名誉教授)
 江川雅子 (一橋大学大学院 経営管理研究科 特任教授)
 老川慶喜 (跡見学園女子大学 マネジメント学部 教授 | 立教大学 名誉教授)
 大湾秀雄 (早稲田大学 政治経済学術院 教授)
 加護野忠男 (甲南大学 特任教授 | 神戸大学 名誉教授)
 鹿島 茂 (フランス文学者)
 兼田麗子 (桜美林大学 ビジネスマネジメント学群 教授)
 蒲島郁夫 (熊本県知事 | 東京大学名誉教授)
 川上浩司 (京都大学 情報学研究科 特定教授)
 川本裕子 (早稲田大学ビジネススクール 教授)
 橘川武郎 (東京理科大学 イノベーション研究科 研究科長)
 榊原清則 (慶應義塾大学 名誉教授)
 柴崎隆一 (東京大学大学院 工学系研究科 レジリエンス工学研究センター 准教授)
 末永國紀 (同志社大学 名誉教授 | 近江商人郷土館 館長)
 高倉弘喜 (国立情報学研究所 教授)
 高野陽太郎 (東京大学 名誉教授)
 名和高司 (一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 客員教授)
 沼上 幹 (一橋大学 副学長)
 野中郁次郎 (一橋大学 名誉教授)
 延岡健太郎 (一橋大学 イノベーション研究センター センター長/教授)
 平野雅章 (早稲田大学ビジネススクール 教授)
 藤田正勝 (京都大学 名誉教授)
 藤本隆宏 (東京大学大学院 経済学研究科 教授)
 本田由紀 (東京大学大学院 教育学研究科 教授)
 松田裕之 (神戸学院大学 経営学部 教授)
 三品和広 (神戸大学 経営学研究科 教授)
 森川博之 (東京大学大学院 工学系研究科 教授)
 森本博行 (首都大学東京 名誉教授)

一橋大学 名誉教授
野中郁次郎



神戸大学 名誉教授
加護野忠男



東京大学 大学院
経済学研究科教授
藤本隆宏



湊 長博 (京都大学 総長)
 宮本又郎 (大阪大学 名誉教授)
 安田隆二 (一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 特任教授)
 山田英夫 (早稲田大学ビジネススクール 教授)
 横山禎徳 (東京大学EMPディレクター)
 米倉誠一郎 (法政大学 イノベーション・マネジメント研究科 教授)
 和田一夫 (東京大学 名誉教授)

読者の声 (Reader's Voice)

- # いつも、興味深い内容です。
- # 毎回楽しみに拝読しています。
- # 西欧的経営を良しとするのではなく、今こそ“日本的経営”を見直しまた新しいモデルをつくり出すべきだと思うので、とても切り口が面白いと思います。
- # よい記事が多く楽しみにしています。
- # 本誌内容とても充実していること実感しました。
- # 有益な情報多数有難うございます。
- # 非常に有益な記事が多く、いつも拝読しています
- # 今回は特に、非常に中身が濃く、読み応えがあったと感じました。
- # 毎号、大変参考になります。
- # 掲載されたコンテンツの素材が高品質で引き込まれた。紙面作りに落ち着きがあり読み易さに配慮を感じた。
「日本の物作りの反撃」シリーズを続けていただきたい。
- # 中期的戦略を考える上でヒントが多数ある。
- # 1件の記事のボリュームが適切で、読みやすいです。登場いただく方に、フェローなどラインとは違った専門職の方もいらしても良いと思います。
- # 全編、あっという間に読んでしまいました。次号はどの様にして購入可能なのが気になりました。
- # 本でメッセージを伝えるのと、逆に、読者側より感想または経験などを伝えるような場を作って欲しい。また、それを参考にしたい。
- # TALKING POINTSが新鮮で面白い。インタビューが核心を突いているからだと思われる。
- # AIの時代はもうすぐそこまできている 社内で活用できること、とりこめることがあると、いろいろ注視していかなければと思っていたところです。
- # 初めて読んだが基本的には製造業に対するデジタルイノベーション的推進記事が多いと感じるが、今後のIoT時代を迎え、サービス業の変化に伴う記事も読んでみたい。
- # 幅広い視点で、HBR本誌とは読み味が異なり新鮮且つ読み応えがある。ディスカッション形式に併せてインタビュー形式で深掘したテーマがあっても面白いのではないか。
- # いつもありがとうございます。弊社でも社長をはじめ経営陣で回覧講読をさせていただいてます。
- # 興味を持てる記事が多いです。

※ 読者アンケートよりフリーアンサーの一部を抜粋

広告協賛メニュー 誌面 (Magazine AD)

■ 広告タイアップ連合企画

企画テーマを定めた **マルチスポンサー型の広告企画** です。

企画テーマにあわせて冒頭に総論記事の掲載がございます (※)。

※連合広告企画 (掲載イメージ)



※ご参画企業が1社の場合は総論はつかず、単独での掲載となります。

広告協賛メニュー オンライン (Online AD)

■ 広告雑誌タイアップ転載

雑誌で掲載した内容をオンラインでも展開し、リーチを広げます。

DQオンライントップ



タイアップページ



ダイヤモンド・オンライン



- ※掲載内容は誌面と同様です。
- ※誘導はDQオンライントップおよびダイヤモンド・オンラインより行います。
- ※ご要望により、オンライン単独での掲載も承ります。
- ※料金などの詳細は12ページを参照ください。
- ※二次利用（広告主サイトからのリンク）についてはお問い合わせください。

雑誌掲載料金 (Magazine-Advertising Fee)

■広告タイアップ

<スポット料金>

ページ数	料金
2ページ	2,000,000円
4ページ	3,800,000円
6ページ	6,000,000円

<年間（複数回）料金>

ページ数	料金（2回/年）	料金（3回/年）	料金（4回/年）
2ページ	3,800,000円 (@1,900,000円)	5,400,000円 (@1,800,000円)	6,800,000円 (@1,700,000円)
4ページ	6,650,000円 (@3,325,000円)	9,450,000円 (@3,150,000円)	11,900,000円 (@2,975,000円)

■純広告（AD）

ページ数	料金	サイズ（天地×左右）
表4	1,300,000円	260×190mm
表2	1,000,000円	280×210mm ※
表3	900,000円	280×210mm
見開き2ページ	1,800,000円	280×420mm
1ページ	900,000円	280×210mm

※表2見開も可能です。
※原稿は協賛社様にてご用意ください。

【特記事項】

- ・上記料金は全て税抜き価格です。
- ・タイアップ費用には取材・制作費を含みます。
(遠方の場合は交通費別途。有識者を起用する場合は、別途料金が発生する場合がございます)

オプション料金 (Option Fee)

■オンライン掲載 (転載)

ページ数	料金	保証PV
2ページ	700,000円	2,500PV
4ページ	1,000,000円	5,000PV
6ページ	1,800,000円	10,000PV

※オンライン単独掲載も承ります。
※二次利用についてはお問い合わせ下さい。

■抜き刷り

	4ページ		6ページ		8ページ		10ページ	
部数	基本料金	上積 単価	基本料金	上積 単価	基本料金	上積 単価	基本料金	上積 単価
1,000部	350,000円	0	368,000円	0	384,000円	0	416,000円	0
1,000部以上	350,000円	15	368,000円	23	384,000円	26	416,000円	36
5,000部	410,000円	14	460,000円	21	488,000円	23	560,000円	32
10,000部	480,000円	12	565,000円	20	603,000円	22	720,000円	30

■誌面PDF (コンテンツ二次利用)

誌面、オンラインに掲載したコンテンツをに次利用いただくことが可能です。

- 利用料金：100,000円／ページ
- 利用期間：ご利用開始日から1年間
- 使用範囲：自社ホームページ、イントラネットでの掲載に限ります。
※他社メディアでの掲載はご遠慮ください。

■同梱サービス

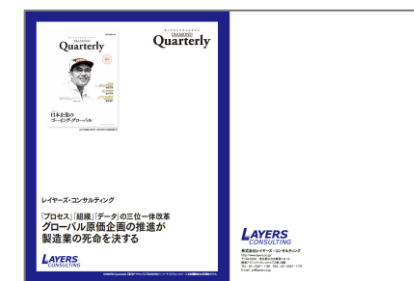
DQ本誌送付にあわせ、貴社パンフレット、広報誌、セミナーチラシなどの同梱が可能です。

- 料金：1,500,000円
- 通数：20,000-21,000通
- 実施規定：
 - ・本誌に原則1,000,000円以上ご出稿がある協賛社様
 - ・1号につき4社まで（ダイヤモンド社の制作物は除く）
- 同梱規定：
 - サイズ…A4サイズまで、重量…50g以内、厚さ5mm以内

<封筒>



<抜き刷り>



※上記料金は全て税抜き

イベント実績

■ 創刊7周年記念フォーラム（リアル開催） <https://promo.diamond.jp/sp/dq-forum7/>
「企業変革なくして価値創造は実現しない『DXを問い直す時』あなたの会社のDXプロジェクトは「成功」いえるのか」

日時	2024年2月8日（木）13:00～18:00（12:30から開場予定）
名称	ダイヤモンドクォーターリー創刊7周年記念フォーラム
テーマ	企業変革なくして価値創造は実現しない DXを問い直す時 あなたの会社のDXプロジェクトは「成功」といえるのか
参加費	無料（事前登録制／抽選）
主催	ダイヤモンド社 ビジネスメディア局
企画	ダイヤモンドクォーターリー編集部
協賛	アビームコンサルティング SAS Institute Japan ダッソー・システムズ ログラス
会場	大手町三井ホール 東京都千代田区大手町1-2-1 Otemachi One 3F
事前登録者数	307名

13:00-14:00	◇基調講演 デジタル、AI、量子の未来 量子技術の進歩でデジタルとAIはどう変わるか 東芝 代表取締役 社長執行役員 CEO 島田太郎 氏
14:00-14:30	◇協賛講演① 製造業における価値創造トリプルの成長戦略 ～あらゆる産業に関わる業界ならではの知の変革～ アビームコンサルティング DXIビジネスユニット 執行役員 プリンシパル DXIビジネスユニット長 橋 知志 氏

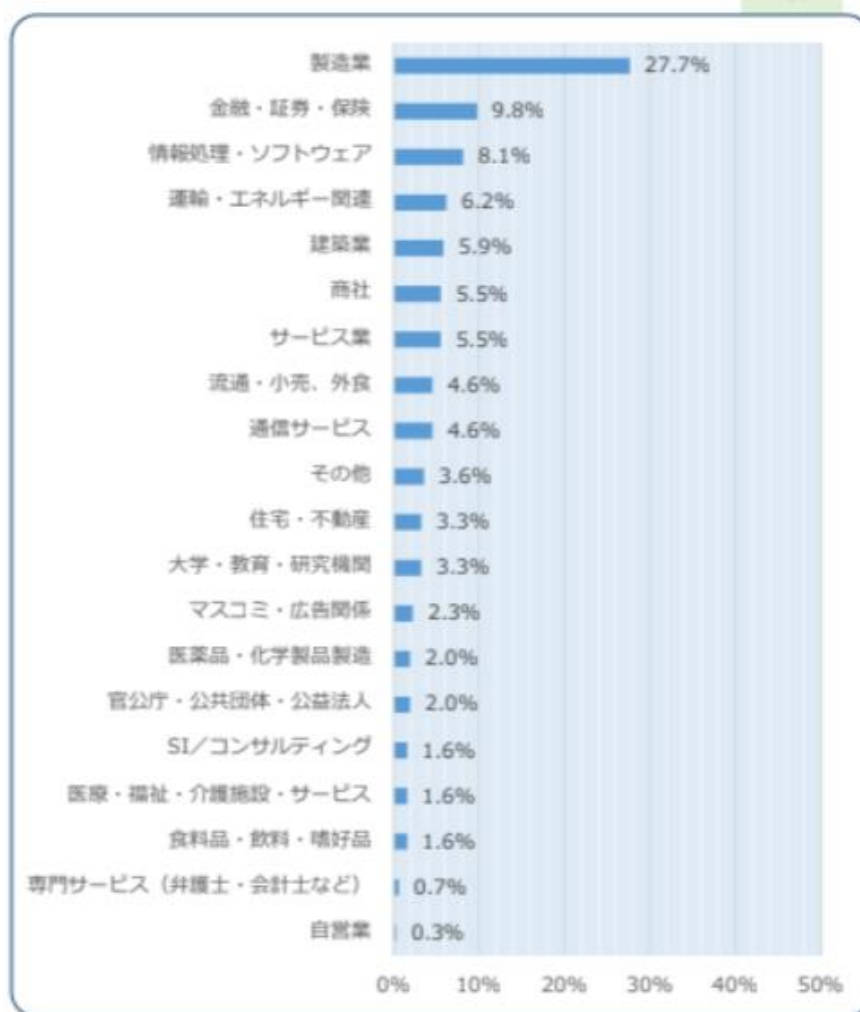
14:30-15:00	◇協賛講演② データによる意思決定で現場力強化 ～これからの日本式DX経営～ SAS Institute Japan カスタマーアドバイザー本部 インダストリーソリューション統括部 製造ソリューショングループ 部長 池本洋信 氏
15:00-15:20	コーヒーブレイク（休憩）
15:20-15:50	◇協賛講演③ バーチャルツイン・エクスペリエンスでつながる 持続可能なデジタル変革 ダッソー・システムズ DELMIAブランド ディレクター 藤井宏樹 氏
15:50-16:20	◇協賛講演④ アジャイルDX ～変化の激しい時代にごそ求められるDX戦略～ ログラス 執行役員 VPoP 斎藤知明 氏
16:20-17:50	◇パネルディスカッション デジタル偏重のDXから、変革中心のdXへ その変革は「未来価値」を生み出すのか [モデレーター] 名和高司 氏（京都先端科学大学 教授 一橋ビジネススクール 客員教授） [パネリスト] 稲垣明宏 氏（ブリヂストン グローバルサステナビリティ戦略統括部門 統括部門長） 柘植朋祐 氏（キーエンス データアナリティクス事業グループ マネージャー） 村上由泰 氏（花王 常務執行役員 DX戦略部門 統括）

イベント実績

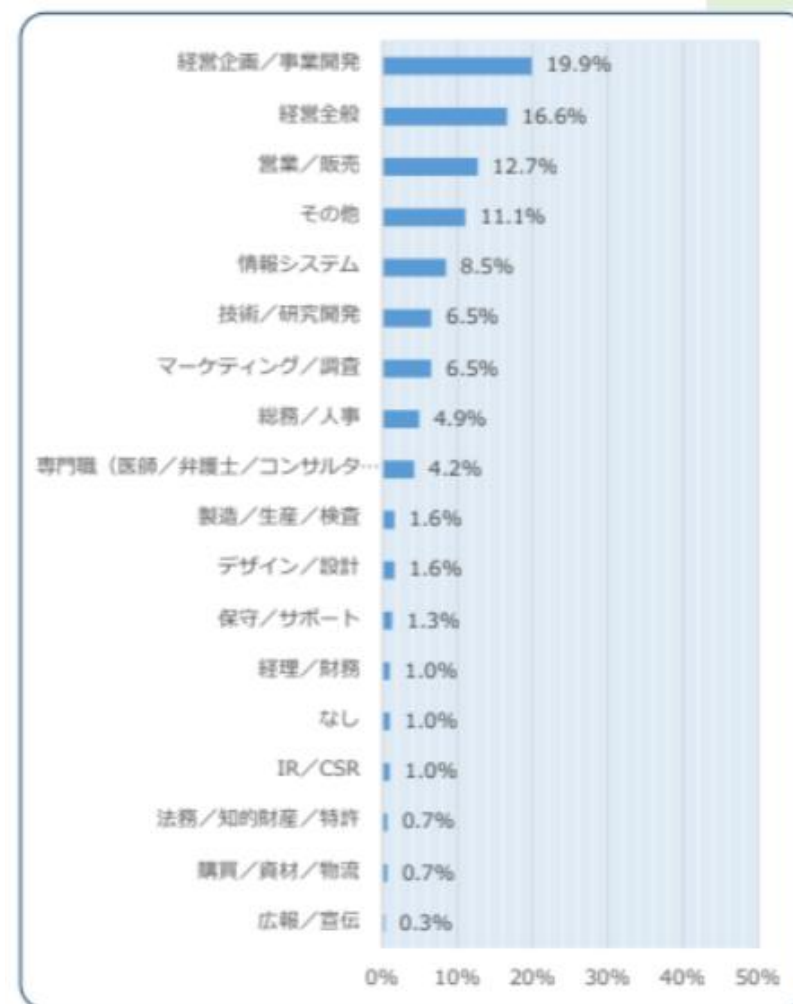
■創刊7周年記念フォーラム（リアル開催）

「企業変革なくして価値創造は実現しない『DXを問い直す時』 あなたの会社のDXプロジェクトは「成功」 見えるのか」

【業種】



【職種】



イベント実績

■創刊7周年記念フォーラム（リアル開催）

「企業変革なくして価値創造は実現しない『DXを問い直す時』 あなたの会社のDXプロジェクトは「成功」 見えるのか」

【役職】



【従業員規模】



【売上規模】



イベント実績

■創刊7周年記念フォーラム（疑似ライブ配信） <https://promo.diamond.jp/sp/dq-forum7/>
「企業変革なくして価値創造は実現しない『DXを問い直す時』あなたの会社のDXプロジェクトは「成功」いえるのか」

日時	2024年2月22日（木）13:00～17:20（12:30から開場予定）
名称	ダイヤモンドクォーターリー創刊7周年記念フォーラム
テーマ	企業変革なくして価値創造は実現しない DXを問い直す時 あなたの会社のDXプロジェクトは「成功」といえるのか
参加費	無料（事前登録制／抽選）
主催	ダイヤモンド社 ビジネスメディア局
企画	ダイヤモンドクォーターリー編集部
協賛	アビームコンサルティング SAS Institute Japan ダッソー・システムズ ログラス
会場	疑似ライブ配信
事前登録者数	619名

13:00-14:00	◇基調講演 デジタル、AI、量子の未来 量子技術の進歩でデジタルとAIはどう変わるか 東芝 代表取締役 社長執行役員 CEO 島田太郎 氏
14:00-14:30	◇協賛講演① 製造業における価値創造ドリブンの成長戦略 ～あらゆる産業に関わる業界ならではの知の変革～ アビームコンサルティング DXIビジネスユニット 執行役員 プリンシパル DXIビジネスユニット長 橋 知志 氏

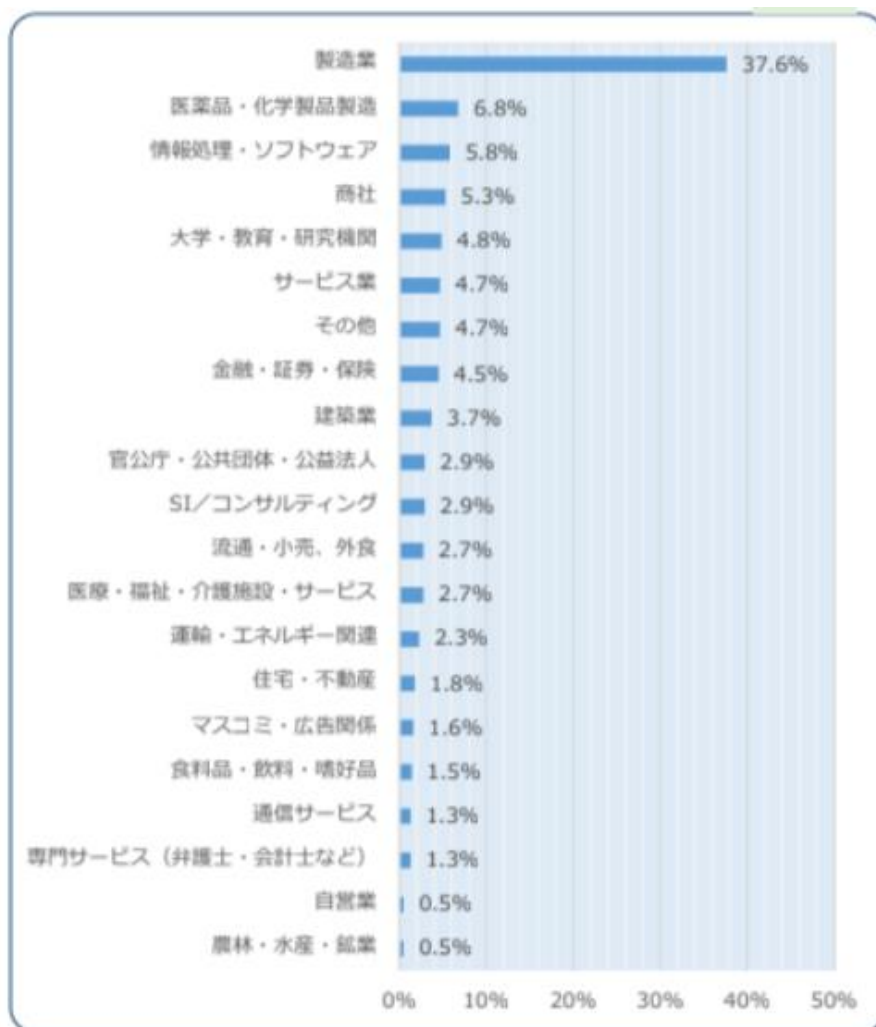
14:30-15:00	◇協賛講演② データによる意思決定で現場力強化 ～これからの日本式DX経営～ SAS Institute Japan カスタマーアドバイザリー本部 インダストリーソリューション統括部 製造ソリューショングループ 部長 池本洋徳 氏
15:00-15:30	◇協賛講演③ バーチャルツイン・エクスペリエンスでつながる 持続可能なデジタル変革 ダッソー・システムズ DELMIAブランド ディレクター 藤井宏樹 氏
15:30-15:55	◇協賛講演④ アジャイルDX ～変化の激しい時代にごそ求められるDX戦略～ ログラス 執行役員 VPoP 斎藤知明 氏
15:55-17:10	◇パネルディスカッション デジタル偏重のDxから、変革中心のdxへ その変革は「未来価値」を生み出すのか [モデレーター] 名和高司 氏（京都先端科学大学 教授 一橋ビジネススクール 客員教授） [パネリスト] 稲垣明宏 氏（ブリヂストン グローバルサステナビリティ戦略統括部門 統括部門長） 柘植明純 氏（キーエンス データアナリティクス事業グループ マネージャー） 村上由季 氏（花王 常務執行役員 DX戦略部門 統括）
17:10-	◇アンケート記入・閉会

イベント実績

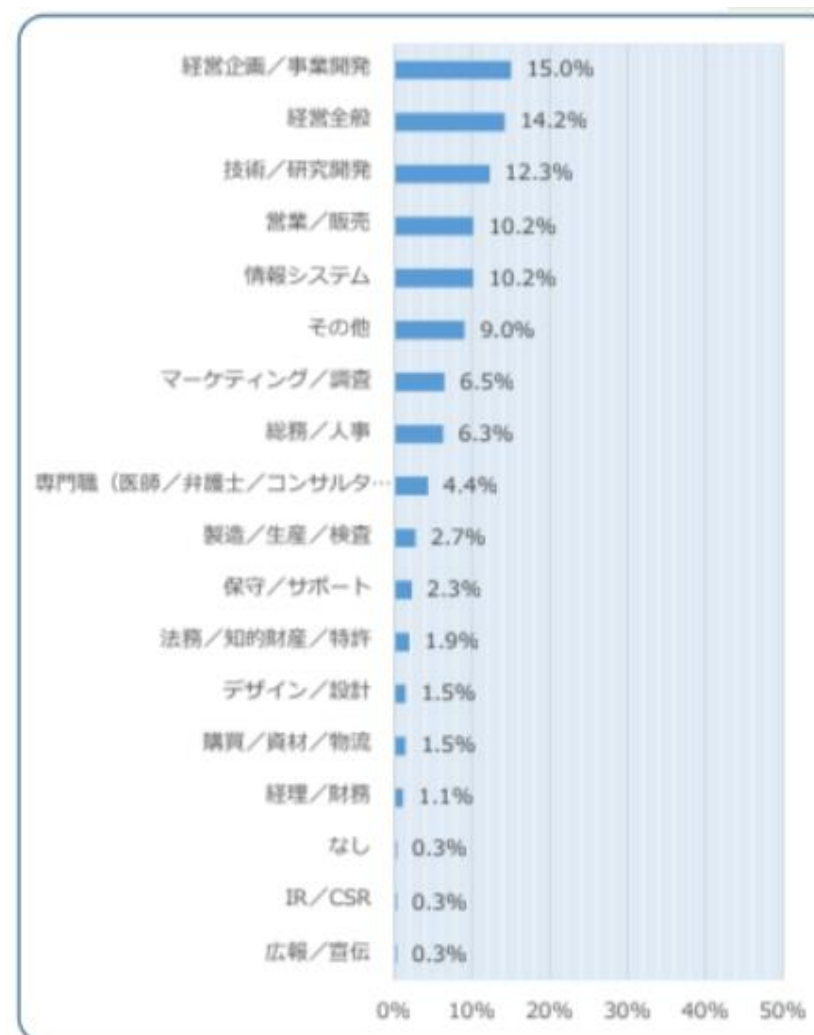
■創刊7周年記念フォーラム（疑似ライブ配信）

「企業変革なくして価値創造は実現しない『DXを問い直す時』 あなたの会社のDXプロジェクトは「成功」 見えるのか」

【業種】



【職種】

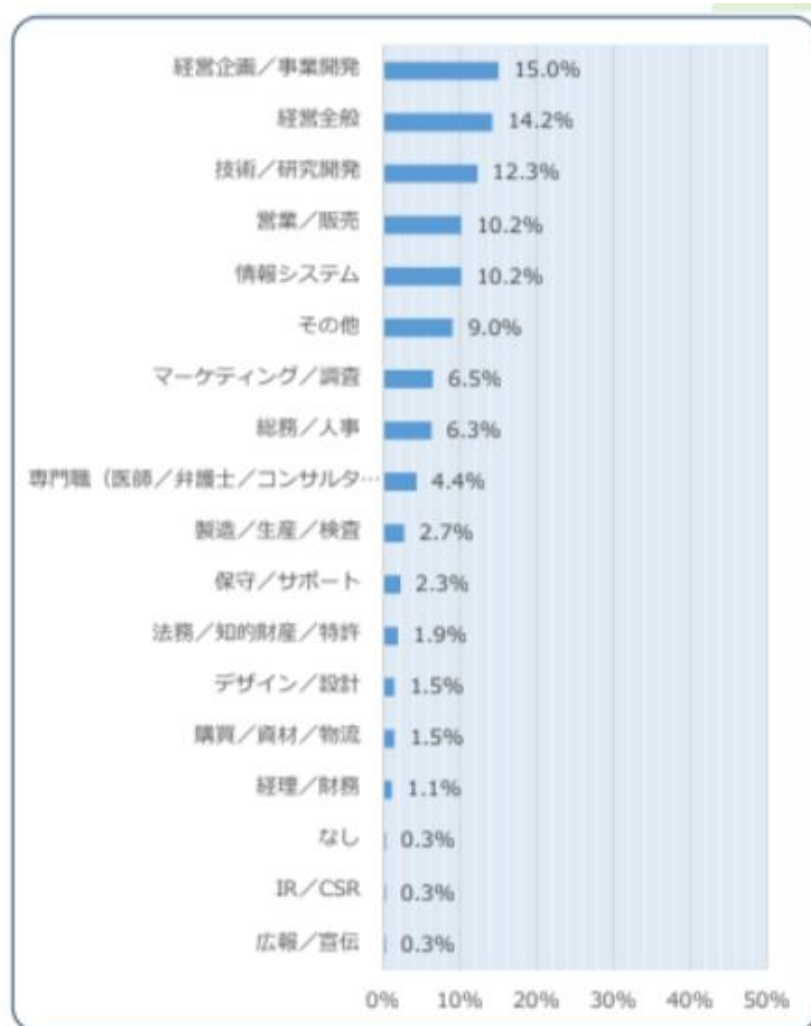


イベント実績

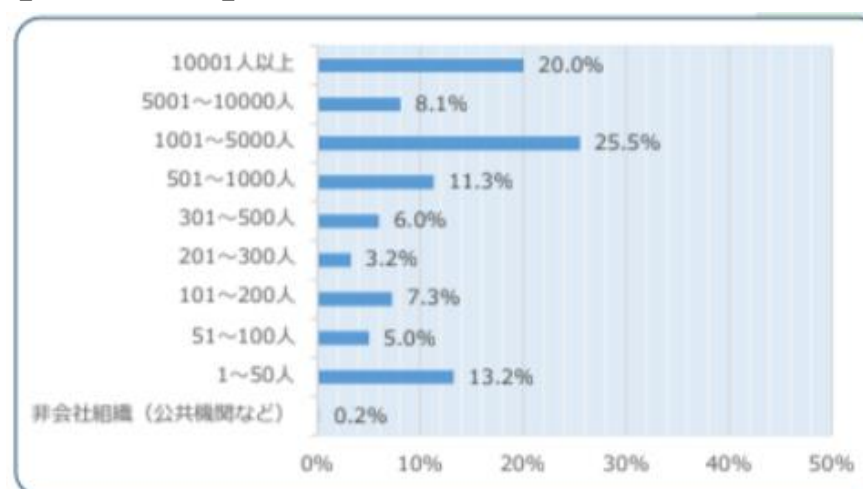
■創刊7周年記念フォーラム（疑似ライブ配信）

「企業変革なくして価値創造は実現しない『DXを問い直す時』 あなたの会社のDXプロジェクトは「成功」 見えるのか」

【役職】



【従業員規模】



【売上規模】



ポジショニングマップ (Positioning Map)

ダイヤモンド クォーターリー

※雑誌21,000部+デジタル版35,000部

【役職】

高い



学術



【用途】

実用



週刊ダイヤモンド
65,000部

100年以上の歴史を誇るビジネス週刊誌。
独自の視点での特集記事がビジネス
パーソンに支持を受けている。

DIAMOND・
ハーバード・ビジネス・レビュー
20,000部

米ハーバード・ビジネス・スクールの教育理念に基づき
創刊された世界最古のマネジメント誌HBRの日本版。
2016年に創刊40周年を迎えた。

ドラッカーやマイケル・ポーターなど世界最高峰の経営
学者の寄稿論文、トップマネジメントへインタビューは
マネジメント層から絶大な支持を得ている。

低い

広告・その他問い合わせ先 (Contact Us)

株式会社 ダイヤモンド社

メディア局 ソリューション営業部

〒150-8409 東京都渋谷区神宮前6-12-17

TEL : 03-5778-7220

E-mail : info-dq@diamond.co.jp